

令和3年度 福島小学校の重点目標・努力事項・具体的取組事項

| 重点目標 | 努力事項 | 具体的取組事項 |
|------------------------|-----------------------------|---|
| ① 確かな学力を身に付けた子どもの育成 | ○子どもが主体的に学ぶ楽しい授業の工夫 | <ul style="list-style-type: none"> ・児童が課題設定や自己選択、自己決定できる機会を設ける。 ◎児童が体験や交流を通して学べるような活動を取り入れる。 |
| | ○明確な学習課題に基づいたよく分かる授業の工夫 | <ul style="list-style-type: none"> ・学習のめあてを提示し、授業や活動の最後にはまとめ・振り返りを行う。 ◎学習準備を整え、チャイムの合図で授業を開始・終了する。 ・教師や友達の話最後まで集中して聞く態度を育てる。 |
| | ○ICTを活用した効果的な指導 | <ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器を効果的に活用し、考えを共有する機会を設ける。 ・動画・画像などの視覚的な教材や、個に応じた課題を用いる。 |
| | ○家庭学習の習慣化 | <ul style="list-style-type: none"> ・家庭で学習したものの中で、よかった点や工夫が見られる点などを紹介し、共有する。 ・図書室を積極的に利用し、家庭での読書をすすめる。 |
| ② 豊かな心で助け合える子どもの育成 | ○自分も他の人も大切に、互いを認め合える人間関係づくり | <ul style="list-style-type: none"> ・友達と関わる活動や、よさを認め合う場を設定する。 ◎誰に対しても気持ちのよいあいさつができるように指導する。 |
| | ○善悪を判断し、正しく行動する力の育成 | <ul style="list-style-type: none"> ・きまりを守っている子やよい行いをしている子を認めて、声をかけたり、紹介したりする。 ・正しい行動を示し、実践したくなるような手立てを学級や代表委員会で話し合い、実施する。 |
| | ○人権感覚・人権尊重の精神の涵養 | <ul style="list-style-type: none"> ・人権アンケートの結果をもとに、各学級の実態に応じた人権教育を実践する。 ◎児童の学校生活における身近な出来事を見逃さず、人権について考える機会にする。 |
| ③ 健やかで、たくましい子どもの育成 | ○運動のおもしろさを感じる体育授業の工夫 | <ul style="list-style-type: none"> ・運動しやすい環境を整え、運動のおもしろさを体験させる。 ・運動の得意な子、そうでない子にもその子なりのがんばりを認める。 |
| | ○運動習慣づくり | <ul style="list-style-type: none"> ・外遊びを奨励し、クラス全員で遊ぶ機会を設ける。 ・様々な運動や遊びを紹介したり、仕方を示したりする。 |
| | ○基本的な生活習慣の育成 | <ul style="list-style-type: none"> ・「早寝・早起き・朝ご飯」の啓発をすすめる。 ・授業や食事のときの正しい姿勢について、児童に意識させる。 |
| | ○保健・食育の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・食事のマナーや好き嫌いなく食べることの大切さについて考えさせる。 ・「学年だより」や「保健だより」などで家庭への健康に関する啓発や情報提供を行う。 |

| 重点目標 | 努力事項 | 具体的取組事項 |
|---------------------------------------|---|--|
| ④ 一人一人を大切に する指導 | ○積極的で組織的な児童理解と一人一人の実態に応じた指導の工夫 | <ul style="list-style-type: none"> ・学習や生活、健康面などで配慮の必要な子どもについて、ケース会議や生徒指導・特別支援連絡協議会等で共通理解を図り、学校全体での報告・連絡・相談を行う。 ・教育相談や外部機関との連携等により児童理解を図り、必要に応じて個別の支援を行う。 |
| | ○特別支援教育(インクルーシブ)の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・学習や生活の流れがわかり見通しをもって動くことができるよう、声かけや表示などで示す。 ・特別支援学級・通常学級・通級指導教室で連携をとりながら児童に合った教育を進める。 |
| | ○一人一人に応じたPBSとキャリアパスポートの活用 | <ul style="list-style-type: none"> ◎当たり前のことで児童をほめたり、「ありがとう」を伝えたりする。 ・できたこと・がんばったことの記録や見える化を図り、児童に達成感をもたせる。 |
| ⑤ 安全・安心な 学校づくり | ○安心して過ごせる学級づくり | <ul style="list-style-type: none"> ・失敗しても許される、受け入れられる学級作りに努める。 ・いじめ調査等を行い、個別の指導に生かし、いじめのない学級づくりに努める。 |
| | ○校内の安全管理の徹底 | <ul style="list-style-type: none"> ・非常時に備え、名札と上靴の着用を習慣づける。 ・校内では右側を歩いて通るよう指導する。 |
| | ○防災意識の高揚と避難行動の徹底 | <ul style="list-style-type: none"> ・様々な事態を想定した避難訓練を行い、家庭で話し合う機会がもてるよう働きかける。 |
| | ○病気・怪我・アレルギーなどの丁寧な対応 | <ul style="list-style-type: none"> ・怪我をしたり不調を訴えたりしている児童がいるときには、迅速に保護者連絡を行い、状況を丁寧に説明する。 ・新型コロナウイルス感染症に関する対応や情報発信を適切に行う。 |
| ⑥ 保護者・地域 等と協力・連 携した学校づ くり | ○積極的な教育活動の公開や情報発信 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校生活や学習の様子を毎月1回以上「学年だより」「HP」等で地域や保護者に発信する。 |
| | ○地域に根ざした教育活動の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・生活科や総合的な学習の時間等の学習を通して、地域のよさや自分とのかかわりに気付かせる。 |
| | ○保護者・地域の声を大切に した学校づくり | <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価・児童アンケート・保護者アンケートで実態を把握するとともに、学校関係者評価によりご意見をいただき、改善に努める。 ・慈恵院、幼稚園、中学校、校区内の児童館や学童保育、デイケアセンター、交番などと連携、交流を深める。 |
| ⑦ 効率的で働き やすい職場づ くり | ○グループウェアを使った 情報共有の効率化 | <ul style="list-style-type: none"> ・STORKを用いて情報共有を図り、毎日見る。 |
| | ○「チーム福島」を意識した 助け合う職場づくりと、チャ レンジ精神によるやりがい づくり | <ul style="list-style-type: none"> ・互いの教室などを気軽に訪問し合い、自分からいろいろな先生方に声をかける。 ・それぞれの個性や得意なことを生かした公開授業をするなど、学び合う機会をもつ。 |
| | ○ワークライフバランスを 考えた超過勤務時間の改 善 | <ul style="list-style-type: none"> ・優先順位を決めて、業務を精選する。 ・週に一度はノー残業デーを意識し、退勤時刻を宣言するなどしてなるべく早く帰る。 |